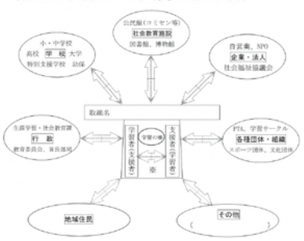
## 岡田 美喜子（新未来21）

### 社会教育によるウェルビーイングの実現

**Q 人と人とのつながりの希薄化等の社会的課題解決に静岡県社会教育委員会が提唱するつながりチェックシートを活用してはどうか。**

A 生涯学習センターで実施する生涯学習課主催の事業において、つながりチェックシートを用いた分析を行い、現状を詳細に把握するとともに、すべての人々が学習機会を保障され、自ら学び、社会に貢献できる環境の整備の具現化に努める。




### 過去の災害から学ぶ安心安全なまちづくり

**Q 防災・減災のため無電柱化は有効であり、新たな住宅開発等では無電柱化を推進するべきと考えるが無電柱化推進計画にどのように反映するか。**

A 次期計画への反映の仕方については、さまざまな課題があるため、関係機関と十分協議した上で、開発事業者に無電柱化の必要性を周知することや実施に向けた検討を促すことを、無電柱化を推進するための施策として位置づけていきたいと考えている。

**他の質問事項**

**避難所トイレに携帯トイレを常備できないか**

## 古長谷 稔（改革みしま）

### ごみ処理施設広域化の実現に向けた取り組み

**Q 3市2町で広域化した場合、施設整備、施設運営、収集運搬など40年間でみたライフサイクルコストはどの程度削減できる見込みか。**

A 本市単独整備と比べ、広域化で施設整備費約40～50億円削減、20年間の運営委託費約80億円削減の一方、他市町に整備された場合、20年間の収集運搬費20数億～40数億円増加と見込まれている。40年間では、運営委託費と収集運搬費で約2倍の増減が見込まれると想定される。

### 伊豆半島広域防災計画での三島市の位置づけ

**Q 半島付け根の新幹線駅を有する市として、大災害時の帰宅困難観光客へ避難場所や情報の提供など、地域防災計画を更新する必要性は。**

A 伊豆半島広域防災協議会を構成する13市町が置かれている状況はさまざまであり、広域防災計画の策定には、構成市町間で多岐にわたる調整が必要であることから、今後、県との連携が進み、協議会内での議論が深まった段階で、必要に応じて本市の地域防災計画の見直しを検討する。

**他の質問事項**

**長伏公園に全天候で利用できる空間を**

## 弓場 重明（覚悟の会）

### 市長、本当に市庁舎、南二日町で良いですか

**Q 南二日町の地質調査の結果、PL値は震度6強で液状化する5＜7.379＜15だった。液状化しないとの答弁は偽装ではないか。**

A 新庁舎は深い支持地盤に杭を定着させるため、PL値が示す建物構造への影響は特になく、地表面についても内閣府の資料から液状化の可能性は低いと確認しており、仮にあったとしても地表面の最大段差は3・7㌢と試算され、国基準に照らし影響は軽微と検証した。

### 市民アンケートの内容に偽りあり

**Q 敷地液状化の可能性と、大場川河岸の家屋倒壊等氾濫想定区域であるにも関わらず明記なし。南二日町に誘導するための偽装工作か。**

A 河岸浸食の指定は、国や県が管理する大きな川のほとんどが対象で、対策工事を済ませた南二日町付近の大場川も区域となるが、一般的な木造家屋等が対象のため庁舎施設は該当しない。なお南二日町広場の庁舎敷地案では、この区域は含めずに敷地設定をしている。

**他の質問事項**

**南二日町移転誘導のための三大偽装か**

## 河野 月江（日本共産党議員団）

### 義務教育の費用を助成する就学援助制度拡充

**Q 当市の受給率は近年約6％で推移している。受給要件の所得基準額が当市より高い近隣市町は複数ある。制度改善を求め見解を伺う。**

A 就学援助の認定は、児童扶養手当の支給や市民税の非課税等の要件のほか、これらと同程度に経済的に困窮していると認められる方を対象にしている。引き続き、関係部署と連携するなかで、各家庭の状況に応じて生活の困難な家庭には必要な支援を行っていく。

### 介護サービスを担う訪問介護事業所への支援

**Q 昨年4月の報酬改定、ガソリン代の高騰、人手不足等により全体的に経営状況の厳しい訪問介護事業所に緊急支援ができないか伺う。**

A 市内の訪問介護事業所の運営は、サービス提供の状況から健全な状況と考えられる。事業者支援については県が行う物価高騰支援金の情報提供等を適切に行っていく。今後の事業所の運営状況についても、利用状況の分析などを行いながら、適切なサービス提供につなげていく。

**他の質問事項**

**三島市の介護保険事業の特徴点について**

## 永田 裕二（新風会）

### 総合窓口・案内業務の利便性向上

**Q 新庁舎整備計画に向けて、現状の総合窓口・案内業務の実状をふまえ、市民の利便性向上のための方策を伺う。**

A 玄関受付に配置しているパソコンにより、職員の在席情報や事務分担、玄関受付用業務索引簿等を随時更新し、その情報を電話交換を担当する公共財産保全課と共有し、市民の皆様への迅速かつ適切な案内につなげたい。

### 移動図書館車「ジンタ号」

**Q ジンタ号の三島市まちなかリノベーション計画・絵本のまち三島事業との連携、ジンタ号の50周年を記念する事業実施など利用促進についての見解を伺う。**

A 絵本のまち三島事業として11月の絵本月間には、著名作家の講演会をメインに生涯学習センターを全館貸切りにして、絵本作家等とコラボしたワークショップを行い、50周年を迎える移動図書館ジンタ号も積極的に活用し、まちなかの賑わいを創出していく。

**他の質問事項**

**デジタルデバイド解消へ移動市役所の導入を**

## 秋山 恭亮（改革みしま）

### 令和6年度2月のPayPayポイントバック事業

**Q 当事業は1カ月継続の予定だったが2日で終了した。次回は三島市民が広く恩恵を受けられる事業設計を求めるがどうか。**

A PayPay株式会社からは「PayPay商品券」事業において対象を市民に限定する仕組みがあると伺っている。また、他の事業者からもデジタル商品券等の提案も受けており、今後消費喚起策を実施することとなった際には、これらの事業も含め検討する。

### 不登校支援

**Q 不登校は一市町の教育委員会だけで支援できる局面ではない。国県と連携し、子どもたちの出口設計、教育機会創出を求めるがどうか。**

A 不登校児童生徒への支援は、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え社会的に自立することを目指す必要がある。社会総がかりで支えていく体制づくりの大切さは認識しており、学校や家庭等、さまざまな機関と連携し、支援拡充に向け、様々な場で働きかけていく。

**他の質問事項**

**市内中小企業支援策について**